

第19回 教育研究評議会 議事要録

日時 平成18年6月30日(金)10:30~12:00
場所 事務局会議室(5階)
出席者 相良学長、川口理事(総務担当)、松永理事(教育担当)、井上理事(研究担当)、
倉本理事(医療担当)、櫻井副学長、橋本副学長、池田副学長、吉倉副学長、小槻
副学長、本家副学長、根小田人文学部長、藤田教育学部長、川村理学部長、橋本
医学部長、篠農学部長、高橋黒潮圏海洋科学研究科長、菅野センター連合教授会
議長、辻田共通教育主管、小澤評議員、蒲生評議員、鈴木評議員、脇口評議員
陪席 益田監事

〔配付資料〕

- 資料 1 国立大学法人高知大学学長選考会議規則及び教育研究評議会規則(抜粋)
- 資料 2 - 1 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案:教育研究関係抜粋)
- 資料 2 - 2 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案:資料編)
- 資料 3 高知大学外国人留学生規則(新旧対照表)
- 資料 4 - 1 平成17年度 学部卒業者就職等進路状況(5月1日現在)
- 資料 4 - 2 平成17年度 大学院修了者就職等進路状況(5月1日現在)
- 資料 5 高知大学総人件費削減計画(案)
- 資料 6 大学教員組織のあり方に関する調査票(集計結果)
- 資料 7 - 1 会議次第(国立大学協会通常総会ほか)
- 資料 7 - 2 国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議
(高等教育局長説明要旨・事務次官説明要旨)
- 資料 7 - 3 国立大学法人評価委員会総会 第15回議事次第及配付資料
机上配付 高知大学の大学院改組についての文部科学省からの助言

議事に先立ち、前回議事要録(案)の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 国立大学法人高知大学学長選考会議委員の選出について
学長から、国立大学法人高知大学学長選考会議規則第2条第1項第2号の規定に基づき、教育研究評議会からの委員選出(4名)について提案の後、事務から説明のあった当該委員選出の対象となる者の確認が行われた。
続いて、選出方法について審議を行い、4名連記の投票により上位4名を当選者とし、票数が同数の場合は年齢の低い者を上位とする旨の確認が行われた。
投票の後、辻田共通教育主管の立会いの下、開票の結果、根小田人文学部長、川村理学部長、篠農学部長、高橋黒潮圏海洋科学研究科長が選出された。
2. 理学部及び農学部の学部改組における事前伺いの結果について
川口理事から、文部科学省に提出していた理学部及び農学部の学部改組計画に関し、文部科学省から意見なしとの連絡があり、予定どおり平成19年度に両学部の改組を行う旨の報告が行われ、理学部長及び農学部長から、謝辞が述べられた。

3．大学院改組について

学長から、大学院改組計画について文部科学省から、カリキュラム、教員担当体制など具体的内容も含め、しっかりとした内容となるよう十分検討し、本年10月頃までに大学としての成案を得られるよう努力願いたいとの助言があった旨の報告の後、現在の進捗状況等を踏まえた結果、引き続き、平成20年度改組に向けて大学院改組検討委員会及びWGで検討・作業を行うことが了承された。

また、今後の検討・作業に当たり、大学院改革について全学的な課題等についての調整・議論を行うための「役員・部局長合同会議」をアドホック的に設置することとされた。

なお、役員・部局長合同会議の議長には井上理事(研究担当)を、副議長には松永理事(教育担当)を充てることとされた。

4．平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

川口理事から、資料2-1及び2-2に基づき、平成17事業年度における全体的な事業実施状況の総括について説明が行われた。

続いて、松永理事、井上理事から、教育活動及び研究活動の実施状況に関し、また、学長から国際交流活動、地域連携・産学連携活動の実施状況に関しての特色ある取組について説明が行われ、審議の結果、承認された。

5．高知大学留学生規則の一部改正について

松永理事から、資料3に基づき、留学生を正規学生として受け入れるに当たって、相手国の制度・条件を考慮し、柔軟に対応するため、本学での授業料等の徴収を免除することを可能とする条文を規定することについて説明が行われ、審議の結果、承認された。

6．平成17年度卒業者、修了者就職等進路状況について

松永理事から、資料4-1及び4-2に基づき、平成17年度の学部卒業者、大学院修了者の進路状況について報告を行うとともに、就職率の算定に当たっての考え方について説明が行われた。また、池田副学長から、学生の就職活動への支援に対する教員の関わりに関し、現状及び課題について報告が行われた。

7．総人件費削減計画について

学長から、閣議決定(平成17年12月24日)を踏まえた、総人件費削減のシミュレーションに基づく、削減計画(案)が取りまとめられた旨の報告の後、人事課長から、資料5に基づき、総人件費削減計画(案)について説明が行われた。

学長から、本案は閣議決定等で求められている基本的なことを踏まえてシミュレーションを行った結果としてのたたき台であり、各部局でも検討をお願いしたい旨の要請が行われた。

併せて、学長から、本件への今後の対応については、全学的な検討委員会の設置も視野に入れ、本案をベースに更にシミュレーションを行う旨の説明が行われた。

8．大学教員組織の在り方に関する調査結果について

学長から、各学部長等に対して依頼していた、学校教育法等の改正に伴う教員組織の在り方に関する調査の集計について報告の後、人事課長から、資料6に基づき、集計結果及び意見について報告が行われた。

なお、学長から、本件への対応に関し、四国地区の各大学の検討状況について報告を行うとともに、全学的な検討委員会の設置について議論する予定である旨の報告が行われた。

9．会議等報告

学長から、資料7 - 1に基づき、6月29日開催の第40回四国国立大学協議会の議事概要に関し、大学教員組織の検討状況、四国国立大学協議会の下での大学教員組織検討委員会の設置、大学院学生の定員充足状況等について報告が行われた。

また、資料7 - 2及び7 - 3に基づき、6月13日開催の国立大学協会第7回通常総会、翌14日開催の国立大学法入学長・大学共同利用機関法人機構長等会議の議事概要に関し、文部科学省高等教育局長説明（要旨）及び事務次官挨拶（要旨）並びに国立大学法人評価委員会配付資料について、各部局構成員に周知願いたい旨の要請が行われた。

以 上